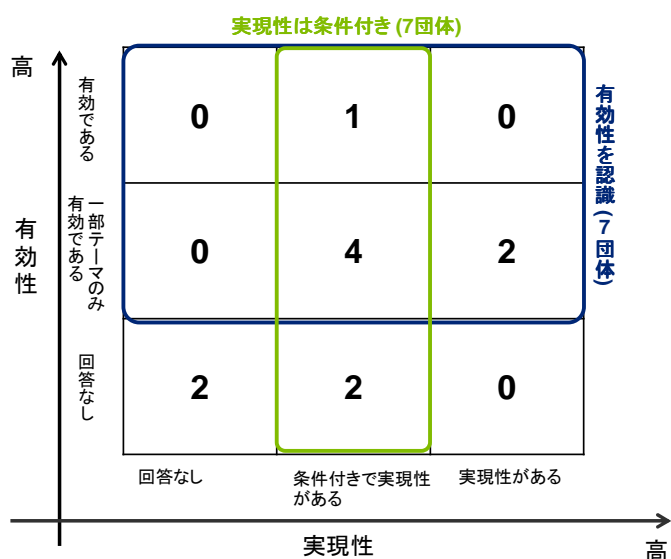


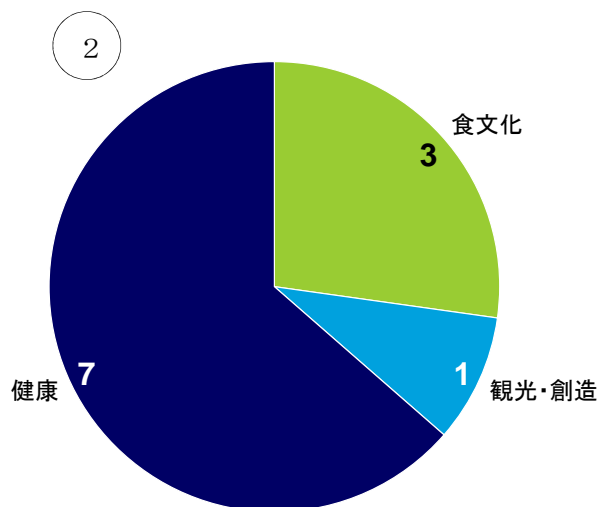
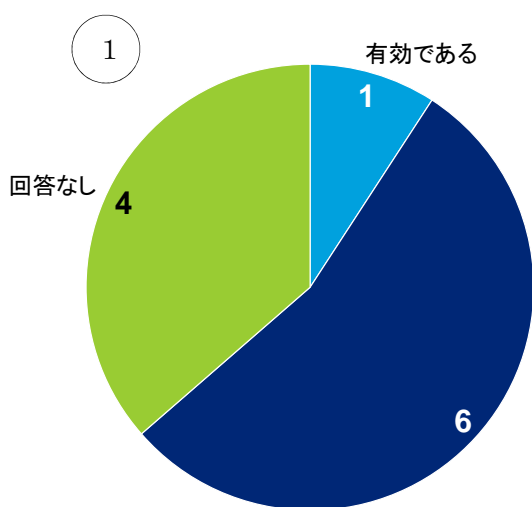
平成 28 年 1 月 12 日(火)～19 日(火)の期間、全 11 団体(20 法人)の皆様にご参加いただき、意見交換を実施いたしました。

現時点で、市が想定しているまちづくりコンセプト(食文化、観光・創造、健康)に対しては、回答をいただいた全ての事業者が有効であると認識している。(7 団体、一部テーマのみ有効含む)  
 実現性については、条件付きで実現可能という回答が多数であった。(7 団体)

問 現まちづくりコンセプトの有効性・実現性があると思うか？



《参考》①「有効性についての回答」及び②「有効または一部有効」と回答があったコンセプトの内訳



一部テーマのみ有効である

(7 団体の内訳: 複数回答有)

上記「実現性における条件」については、「まちづくりを円滑に進めるための、駅・既存商業施設との動線連携確保」(7 団体)、「目指す姿と現状のギャップを埋めるための官民連携」(5 団体)への要望などがあり、事業性を担保しながら事業者だけでは推進しきれない領域へのサポートが期待されている。

問 行政に対してどのようなサポートを期待するか？

|                  | 主な意見   |
|------------------|--|
| 駅・既存商業施設との動線連携確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ I街区中心部と駅(JR・地下鉄)の2階デッキまたは地下接続の実施及びその支援</li> <li>➢ 既存商業とI街区の接続及びその支援</li> </ul>                |
| 官民連携             | <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ オフィスへの入居事業者誘致支援</li> <li>➢ 大学サテライトへの入居大学誘致支援</li> <li>➢ 観光客集客施設等の建設初期費用交付及び運営者紹介支援</li> </ul> |

提案可能な開発街区について、現時点での想定では「G・I街区を一体開発」(7 団体)、「G街区のみ開発」(3 団体)、「I街区のみ開発」(1 団体)の回答結果となった。

問 どちらの街区の開発を提案可能か？

